

令和3年8月31日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、農薬製造者からの申請に基づき、令和3年9月29日に使用制限となる変更の登録が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名	変更内容
第18211号	アドマイヤー水和剤	イミダクロプリド水和剤	バイエルクロップサイエンス株式会社	別紙1
第18212号	クミアイアドマイヤー水和剤	イミダクロプリド水和剤	クミアイ化学工業株式会社	
第18218号	アドマイヤー1粒剤	イミダクロプリド粒剤	バイエルクロップサイエンス株式会社	別紙2
第18220号	クミアイアドマイヤー1粒剤	イミダクロプリド粒剤	クミアイ化学工業株式会社	
第18562号	アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド水和剤	バイエルクロップサイエンス株式会社	別紙3
第18563号	クミアイアドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド水和剤	クミアイ化学工業株式会社	
第20342号	アドマイヤー顆粒水和剤	イミダクロプリド水和剤	バイエルクロップサイエンス株式会社	別紙4
第20343号	クミアイアドマイヤー顆粒水和剤	イミダクロプリド水和剤	クミアイ化学工業株式会社	
第24102号	アドマイヤープラスフロアブル	イミダクロプリド・エチプロール水和剤	バイエルクロップサイエンス株式会社	別紙5

アドマイヤー水和剤、クミアイアドマイヤー水和剤

1. 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）

(1) 作物削除

- ・作物名「稲」（使用方法「散布」）を削除する。

(2) 施設栽培に限定

- ・作物名「きゅうり」について、使用方法「散布」の作物名を「きゅうり(施設栽培)」に変更する。
- ・作物名「ピーマン」を「ピーマン(施設栽培)」に、「にがうり」を「にがうり(施設栽培)」に、それぞれ変更する。

(3) 使用時期の制限

- ・作物名「りんご」、「なし」、「もも」、「ネクタリン」、「ぶどう」、「かき」、「うめ」、「すもも」、「くり」について、使用方法「散布」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)」を追加する。
- ・作物名「すいか」、「メロン」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については着果後)」を追加する。

2. 申請者による変更理由

- (1) 現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。
- (2) ～ (3) 環境に調和した持続的な農業を目指す上で、ミツバチ・野生ハナバチ類に対する安全性を一層向上させた使用法に変更する必要があると判断したため。

3. 適用表（今回、使用制限となる変更部分のみ）

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イタダクアクトを含む農薬の総使用回数			
稲	ツマグロヨコバイ ウカ類	2000倍	60～150 L/10a	収穫7日前まで	2回 以内	散布	3回以内 (は種時(直播)又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)			
りんご	アブラムシ類 キンモンホリガ ギンモンハモグリガ	1000～ 2000倍	200～700 L/10a	収穫3日前まで	2回 以内	散布	2回以内			
なし	アブラムシ類 カメムシ類 チュウゴクナシキジラミ	1000倍								
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍								
ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍								
ぶどう	アザミウマ類	1000～ 2000倍		収穫14日前まで						
	フタテンヒメヨコバイ	1000倍		収穫21日前まで						
かき	アザミウマ類	1000～ 2000倍		収穫7日前まで				3回 以内		3回以内
	カメムシ類	1000倍								

うめ すもも	アブラムシ類	2000倍		収穫21日前まで	2回 以内		2回以内
くり	アブラムシ類	1000倍		収穫7日前まで	3回 以内		3回以内
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内(育苗期の株 元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以 内、散布及び常温煙霧 は合計3回以内)
すいか	アブラムシ類 アザミウマ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで	3回 以内	散布	4回以内(定植時の土 壌混和は1回以内、散 布は3回以内)
メロン	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類						4回以内(育苗期の株 元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以 内、散布は3回以内)
にがうり	アザミウマ類			2回以内(定植時の土 壌混和は1回以内)			
ピーマン	アザミウマ類 アブラムシ類			3回以内(育苗期の株 元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以 内、散布は2回以内)			

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	イタダクプロット を含む農薬の 総使用回数		
りんご	アブラムシ類 キンモンホガ ギンモンホケリガ	1000~ 2000倍	200~700 L/10a	収穫3日前まで (ただし、露地栽培 については発芽期 から開花期を除く)	2回 以内	散布	2回以内		
なし	アブラムシ類 カメムシ類 チュウゴクナシキンラム	1000倍							
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ	1000~ 2000倍							
	カメムシ類	1000倍							
ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ	1000~ 2000倍		収穫14日前まで(た だし、露地栽培に ついては発芽期か ら開花期を除く)					
	カメムシ類	1000倍							
ぶどう	アザミウマ類	1000~ 2000倍		収穫21日前まで(た だし、露地栽培に ついては発芽期か ら開花期を除く)					
	フタテンヒメヨコバイ	1000倍							
かき	アザミウマ類	1000~ 2000倍		収穫7日前まで(た だし、露地栽培に ついては発芽期か ら開花期を除く)				3回 以内	3回以内
	カメムシ類	1000倍							
うめ すもも	アブラムシ類	2000倍	収穫21日前まで(た だし、露地栽培に ついては発芽期か ら開花期を除く)	2回 以内	2回以内				
くり	アブラムシ類	1000倍	収穫7日前まで(た だし、露地栽培に ついては発芽期か ら開花期を除く)	3回 以内	3回以内				

きゅうり (施設栽培)	アブラムシ類 コジラミ類 アザミウマ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内(育苗期の株 元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以 内、散布及び常温煙霧 は合計3回以内)
すいか	アブラムシ類 アザミウマ類	2000倍	100~300 L/10a	収穫3日前まで(た だし、露地栽培に ついては着果後)	3回 以内	散布	4回以内(定植時の土 壌混和は1回以内、散 布は3回以内)
メロン	アブラムシ類 アザミウマ類 コジラミ類						4回以内(育苗期の株 元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以 内、散布は3回以内)
にがうり (施設栽培)	アザミウマ類			収穫前日まで	2回 以内		2回以内(定植時の土 壌混和は1回以内)
ピーマン (施設栽培)	アザミウマ類 アブラムシ類			収穫前日まで			3回以内(育苗期の株 元散布及び定植時の 土壌混和は合計1回以 内、散布は2回以内)

アドマイヤー1粒剤、クミアイアドマイヤー1粒剤

1. 変更内容 (今回の使用制限変更にかかる部分のみ)

(1) 作物削除

- ・作物名「豆類(種実、ただし、だいずを除く)」、「だいず」、「ズッキーニ」、「非結球あぶらな科葉菜類」、「なばな類」を削除する。

2. 申請者による変更理由

- (1) 現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

3. 適用表 (今回、使用制限となる変更部分のみ)

【変更前】

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダグアプロットを含む農薬の総使用回数
豆類(種実、ただし、だいずを除く)	—	アブラムシ類	3kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
だいず			セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り50g			本剤の所定量をセル成型育苗トレイまたはペーパーポットの培土に均一に混和する	
ズッキーニ		アザミヤカ類 ヨナジラミ類	2g/株	定植時		植穴 土壌混和	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
非結球あぶらな科葉菜類		アブラムシ類	3～6kg/10a	は種時		播溝 土壌混和	2回以内(は種時の土壌混和は1回以内)
なばな類							なばなは2回以内(は種時の土壌混和は1回以内)、なばな以外のなばな類は1回

【変更後】

削除

アドマイヤーフロアブル、クミアイアドマイヤーフロアブル

1. 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）

(1) 作物削除

- ・作物名「ズッキーニ」、「非結球あぶらな科葉菜類(みずなを除く)」を削除する。

(2) 作物削除

- ・作物名「とうもろこし」、「ヤングコーン」を削除する。

(3) 施設栽培に限定

- ・作物名「きゅうり」を「きゅうり(施設栽培)」に、「ピーマン」を「ピーマン(施設栽培)」に、「オクラ」を「オクラ(施設栽培)」に、「未成熟ささげ」を「未成熟ささげ(施設栽培)」に、「食用ぎく」を「食用ぎく(施設栽培)」に、「きく」を「きく(施設栽培)」に、「きく(葉)」を「きく(葉)(施設栽培)」に、「ポインセチア」を「ポインセチア(施設栽培)」にそれぞれ変更する。

(4) 使用時期の制限

- ・作物名「びわ」、「もも」、「なし」、「あんず」、「ぶどう」、「かんきつ」、「キウイフルーツ」、「デイゴ」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)」を追加する。
- ・作物名「つつじ類」の使用方法「散布」の使用時期を、「発生初期(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)」に変更する。
- ・作物名「れんこん」、「未成熟そらまめ」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については開花期終了後)」を追加する。
- ・作物名「メロン」、「かぼちゃ」、「すいか」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については着果後)」を追加する。

(5) 適用病害虫の削除

- ・作物名「かんきつ」の適用病害虫から、「ケンキスイ類」及び「コアオハナムグリ」を削除する。

2. 申請者による変更理由

- (1) 現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。
- (2) ～ (5) 環境に調和した持続的な農業を目指す上で、ミツバチ・野生ハナバチ類に対する安全性を一層向上させた使用法に変更する必要があると判断したため。

3. 適用表（今回、使用制限となる変更部分のみ）

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イダグアプリドを含む農薬の総使用回数
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫7日前まで	2回 以内	散布	2回以内
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	5000倍	200～700 L/10a	収穫3日前まで		散布	
なし	アブラムシ類		200～700 L/10a			散布	
あんず	アブラムシ類		200～700 L/10a	収穫7日前まで		散布	
ぶどう	アザミヤカ類		200～700 L/10a	収穫21日前まで		散布	

かんきつ	カイガラシ類 アザミウマ類 ケンキスイ類 コアオナムケリ ミカンハモグリガ カメシ類 アブラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫	2000～ 5000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	3回 以内	散布	3回以内
	ミカンバエ	2000～ 4000倍					
	ミカンキジラミ	2000倍					
	アブラムシ類 アザミウマ類 カメシ類 ケンキスイ類 コアオナムケリ ゴマダラカミキリ成虫 ミカンハモグリガ ミカンバエ ミカンキジラミ	80倍	8～20 L/10a			無人航空機による 散布	
	40倍	4～10 L/10a					
		20倍	4～5 L/10a				
キウイ フルーツ	カメシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	2回以内
とうもろこし	アブラムシ類	64倍	1.6～3.2 L/10a	収穫14日前まで	2回 以内	無人航空機による 散布	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)
		4000倍	100～300 L/10a			散布	
ヤングコーン	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回 以内	散布	2回以内
非結球あぶらな科葉菜類(みずなを除く)	アブラムシ類 コナジラミ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回 以内	散布	2回以内(は種時の土壌混和は1回以内)
れんこん	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回 以内	散布	3回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内)
きゅうり	アブラムシ類 アザミウマ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)
メロン	アブラムシ類 アザミウマ類			収穫3日前まで			4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
かぼちゃ	アブラムシ類			収穫前日まで	2回 以内		3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
ズッキーニ				収穫前日まで	3回 以内		4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
すいか				収穫3日前まで	3回 以内		

ピーマン				収穫前日まで	2回以内		3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
オクラ	アブラムシ類 アザミウマ類				3回以内		3回以内
未成熟そらまめ	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)
未成熟ささげ	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
きく(葉)	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
食用ぎく	アブラムシ類 アザミウマ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
きく		2000倍	100～200 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
ポインセチア	アブラムシ類 コナジラミ類					散布	
つつじ類	ツツジガンバイ	2000倍	100～200 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内(株元灌注は2回以内、土壌混和は2回以内)
		5000倍	1L / m ²	発生前	2回以内	株元灌注	
デイゴ	デイゴヒメハチ	2000倍	200～700 L/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内

【変更後】

作物名	適用害虫虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イタダクアクトを含む農薬の総使用回数
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫7日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回以内	散布	2回以内
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	5000倍	200～700 L/10a	収穫3日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)		散布	
なし	アブラムシ類		200～700 L/10a	収穫7日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)		散布	
あんず	アブラムシ類	200～700 L/10a	収穫7日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	散布			
ぶどう	アザミウマ類	200～700 L/10a	収穫21日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	散布			

かんきつ	カイガラシ類 アザミウマ類 ミカンホガリガ カメシ類 アブラムシ類 ゴマダラカミクリ成虫	2000～ 5000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)	3回 以内	散布	3回以内		
	ミカンバエ	2000～ 4000倍							
	ミカンキジラミ	2000倍							
	アブラムシ類 アザミウマ類 カメシ類 ゴマダラカミクリ成虫	80倍	8～20 L/10a						
	ミカンホガリガ ミカンバエ ミカンキジラミ	40倍	4～10 L/10a			無人航空機による 散布			
		20倍	4～5 L/10a						
キウイ フルーツ	カメシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫前日まで (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)	2回 以内	散布	2回以内		
れんこん	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで (ただし、露地栽培については 開花期終了後)	2回 以内	散布	3回以内(植付時の 土壌混和は1回以内、植付後の処理 は2回以内)		
きゅうり (施設栽培)	アブラムシ類 アザミウマ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内(育苗期の 株元散布及び定植時の土壌混和は合 計1回以内、散布及び常温煙霧は合 計3回以内)		
メロン	アブラムシ類 アザミウマ類			収穫3日前まで (ただし、露地栽培については 着果後)			4回以内(育苗期の 株元散布及び定植時の土壌混和は合 計1回以内、散布は3回以内)		
かぼちゃ	アブラムシ類			収穫前日まで (ただし、露地栽培については 着果後)	2回 以内		3回以内(定植時の 土壌混和は1回以内、散布は2回以 内)		
すいか				収穫3日前まで (ただし、露地栽培については 着果後)	3回 以内		4回以内(定植時の 土壌混和は1回以内、散布は3回以 内)		
ピーマン (施設栽培)				収穫前日まで	2回 以内		3回以内(育苗期の 株元散布及び定植時の土壌混和は合 計1回以内、散布は2回以内)		
オクラ (施設栽培)	アブラムシ類 アザミウマ類						3回 以内		3回以内
未成熟そら まめ	アブラムシ類			4000倍	100～300 L/10a		収穫7日前まで (ただし、露地栽培については 開花期終了後)	3回 以内	散布
未成熟ささ げ	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	3回以内(定植時及 びは種時の土壌混		

(施設栽培)							和は合計1回以内、散布は2回以内)
きく(葉) (施設栽培)	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫14日前まで	3回 以内	散布	3回以内
食用ぎく (施設栽培)	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回 以内	散布	2回以内
きく (施設栽培)	アザミウマ類	2000倍	100~200 L/10a	発生初期	5回 以内	散布	5回以内
ポインセチア (施設栽培)	アブラムシ類 コジラミ類					散布	
つつじ類	ツツジクンバイ	2000倍	100~200 L/10a	発生初期 (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)	5回 以内	散布	5回以内(株元灌注は2回以内、土壌混和は2回以内)
		5000倍	1L / m ²	発生前	2回 以内	株元灌注	
ダイゴ	テイゴヒメバチ	2000倍	200~700 L/10a	発生初期(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回 以内	散布	2回以内

アドマイヤー顆粒水和剤、クミアイアドマイヤー顆粒水和剤

1. 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）

(1) 作物削除

- ・作物名「ズッキーニ」、「うり類(漬物用)」、「豆類(種実)」を削除する。

(2) 作物削除

- ・作物名「茶」を削除する。

(3) 作物削除

- ・作物名「とうもろこし」を削除する。

(4) 施設栽培に限定

- ・作物名「ピーマン」を「ピーマン(施設栽培)」に、「きゅうり」を「きゅうり(施設栽培)」に、「にがうり」を「にがうり(施設栽培)」に、「きく」を「きく(施設栽培)」にそれぞれ変更する。

(5) 使用時期の制限

- ・作物名「かんきつ」、「りんご」、「うめ」、「すもも」、「なし」、「もも」、「ネクタリン」、「ぶどう」、「かき」、「げっきつ」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)」を追加する。
- ・作物名「とうがらし類」、「豆類(未成熟、ただし、未成熟そらまめを除く)」、「未成熟そらまめ」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については開花期終了後)」を追加する。
- ・作物名「すいか」、「メロン」、「かぼちゃ」の使用時期の項に但し書きとして、「(ただし、露地栽培については着果後)」を追加する。

(6) 適用病害虫の削除

- ・作物名「かんきつ」の適用病害虫から、「ケンキスイ類」及び「コアオハナムグリ」を削除する。

2. 申請者による変更理由

(1) 現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

(2) 欧州連合(EU)においてイミダクロプリドの農薬登録が失効したことを鑑み、国内でのイミダクロプリドの使用がEUへの農産物輸出の妨げとならないよう、国内での使用実態の少ない適用作物を順次削除する。

(3)～(6) 環境に調和した持続的な農業を目指す上で、ミツバチ・野生ハナバチ類に対する安全性を一層向上させた使用方法に変更する必要があると判断したため。

3. 適用表（今回、使用制限となる変更部分のみ）

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
とうもろこし	アブラムシ類	10000～15000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)
		160倍	1.6～3.2 L/10a			無人航空機による散布	
		80倍	1.6L/10a				
かんきつ	アブラムシ類 ミカンモグリカ ケンキスイ類 ゴマダラカミキリ成虫 コアオハナムグリ コナカイガラムシ類	5000～10000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内

	アカカカイラムシ コナジラミ類 アザミマ類 カメムシ類						
	ミカンキジラミ	5000倍					
りんご	カメムシ類 リンゴワタムシ	5000倍		収穫3日前まで	2回 以内		2回以内
	アブラムシ類	5000～ 15000倍					
	キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	5000～ 10000倍					
うめ すもも	アブラムシ類	10000倍		収穫21日前まで			
なし	コカカイラムシ類	5000倍		収穫3日前まで			
	アブラムシ類 カメムシ類	5000～ 10000倍					
もも	アブラムシ類	5000～		収穫14日前まで			
ネクタリン	モモハモグリガ カメムシ類	10000倍					
ぶどう	コカカイラムシ類	5000倍		収穫21日前まで			
	アザミマ類 フタテンヒメコバエ	5000～ 10000倍					
かき	コカカイラムシ類	5000倍	200～700 L/10a	収穫7日前まで	3回 以内	散布	3回以内
	アザミマ類 カメムシ類	5000～ 10000倍	200～700 L/10a				
ピーマン	アブラムシ類 アザミマ類	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	3回以内(育苗期の 株元散布及び定植 時の土壌混和は合 計1回以内、散布は2 回以内)
とうがらし 類		5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミマ類	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内(育苗期の 株元散布及び定植 時の土壌混和は合 計1回以内、散布及 び常温煙霧は合計3 回以内)
すいか	アブラムシ類 アザミマ類	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで		散布	4回以内(定植時の 土壌混和は1回以 内、散布は3回以内)
ズッキーニ	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミマ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで		散布	
メロン	コナジラミ類 アブラムシ類 アザミマ類	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで		散布	4回以内(育苗期の 株元散布及び定植 時の土壌混和は合 計1回以内、散布は3 回以内)
うり類 (漬物用)	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミマ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで		散布	3回以内
にがうり	アザミマ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	2回以内(定植時の 土壌混和は1回以 内)
かぼちゃ	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	3回以内(定植時の 土壌混和は1回以 内、散布は2回以 内)
豆類(種実)	アブラムシ類	10000倍	80～300 L/10a	収穫30日前まで	2回 以内	散布	3回以内(は種時の 土壌混和は1回以

							内、散布は2回以内)
豆類 (未成熟、ただし、未成熟そらまめを除く)	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
未成熟そらまめ	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ	5000～ 10000倍	200～400 L/10a	摘採7日前まで	1回	散布	1回
	ツマグロアオカスミカメ	5000倍					
きく	アザミウマ類	5000倍	100～300 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
げっきつ	ミカンキンラム	5000倍	200～700 L/10a	発生初期	4回以内	散布	4回以内

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用方法	イダクロプロト [®] を含む農薬の 総使用回数	
かんきつ	アブラムシ類 ミカンモグリガ ゴマダラカミクリ成虫 コカイガラムシ類 アカルカイガラムシ コナジラミ類 アザミウマ類 カメムシ類	5000～ 10000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)	3回 以内	散布	3回以内	
	ミカンキンラム	5000倍						
りんご	カメムシ類 リンゴワタムシ	5000倍		収穫3日前まで (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)	2回 以内			2回以内
	アブラムシ類	5000～ 15000倍						
	キンモンホソガ ギンモンモグリガ	5000～ 10000倍						
うめ すもも	アブラムシ類	10000倍		収穫21日前まで (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)	2回 以内			2回以内
なし	コカイガラムシ類	5000倍		収穫3日前まで (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)				
	アブラムシ類 カメムシ類	5000～ 10000倍						
もも	アブラムシ類 モモモグリガ カメムシ類	5000～ 10000倍		収穫14日前まで (ただし、露地栽培については 発芽期から開花期を除く)				
ネクタリン								
ぶどう	コカイガラムシ類	5000倍	収穫21日前まで					

	アザミマ類 フテンヒメコバイ	5000～ 10000倍		(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)			
かき	コカイガラムシ類	5000倍	200～700 L/10a	収穫7日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	3回 以内	散布	3回以内
	アザミマ類 カミシ類	5000～ 10000倍	200～700 L/10a				
ピーマン (施設栽培)	アブラムシ類 アザミマ類	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	3回以内(育苗期の 株元散布及び定植 時の土壌混和は合 計1回以内、散布は2 回以内)
とうがらし 類		5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで (ただし、露地栽培については開花期終了後)	2回 以内	散布	
きゅうり (施設栽培)	アブラムシ類 コジラミ類 アザミマ類	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3回 以内	散布	4回以内(育苗期の 株元散布及び定植 時の土壌混和は合 計1回以内、散布及 び常温煙霧は合計3 回以内)
すいか	アブラムシ類 アザミマ類	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで (ただし、露地栽培については着果後)		散布	4回以内(定植時の 土壌混和は1回以 内、散布は3回以内)
メロン	コジラミ類 アブラムシ類 アザミマ類	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで (ただし、露地栽培については着果後)		散布	4回以内(育苗期の 株元散布及び定植 時の土壌混和は合 計1回以内、散布は3 回以内)
にがうり (施設栽培)	アザミマ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回 以内	散布	2回以内(定植時の 土壌混和は1回以 内)
かぼちゃ	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで (ただし、露地栽培については着果後)	2回 以内	散布	3回以内(定植時の 土壌混和は1回以 内、散布は2回以 内)
豆類 (未成熟、た だし、未成 熟そらまめ を除く)	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで (ただし、露地栽培については開花期終了後)	2回 以内	散布	3回以内(定植時及 びは種時の土壌混 和は合計1回以内、 散布は2回以内)
未成熟 そらまめ	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで (ただし、露地栽培については開花期終了後)	3回 以内	散布	3回以内(定植時及 びは種時の土壌混 和は合計1回以内)
きく (施設栽培)	アザミマ類	5000倍	100～300 L/10a	発生初期	5回 以内	散布	5回以内
げっきつ	ミカンキジラミ	5000倍	200～700 L/10a	発生初期 (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	4回 以内	散布	4回以内

アドマイヤープラスフロアブル

1. 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）

(1) 使用時期の制限

- ・作物名「かんきつ」の使用時期を「収穫21日前まで」から「収穫21日前まで(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)」に変更する。

2. 申請者による変更理由

(1) 環境に調和した持続的な農業を目指す上で、ミツバチ・野生ハナバチ類に対する安全性を一層向上させた使用法に変更する必要があると判断したため。

3. 適用表（今回、使用制限となる変更部分のみ）

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イタダクプロリトを含む農薬の総使用回数	エチプロールを含む農薬の総使用回数
かんきつ	コカイガラムシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内
	アザミヤ類 アブラムシ類 カメムシ類 ゴマダラカミリ成虫 ミカンハエ成虫 ミカンモグリガ	32倍	4～7.5 L/10a			無人航空機による散布		
		40～50倍	7.5～15 L/10a					
		100倍	15～30 L/10a					
		200倍	30～50 L/10a					

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イタダクプロリトを含む農薬の総使用回数	エチプロールを含む農薬の総使用回数
かんきつ	コカイガラムシ類	2000倍	200～700 L/10a	収穫21日前まで (ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回以内	散布	3回以内	2回以内
	アザミヤ類 アブラムシ類 カメムシ類 ゴマダラカミリ成虫 ミカンハエ成虫 ミカンモグリガ	32倍	4～7.5 L/10a			無人航空機による散布		
		40～50倍	7.5～15 L/10a					
		100倍	15～30 L/10a					
		200倍	30～50 L/10a					